

うたづ 議会だより

2016
第61号
11.1
香川県宇多津町



太鼓台がやって来た！

(中央保育所・宇多津小・宇多津北小)



町政を問う (一般質問)

6

応援しようでえ～！
うたづっ子

「祝 全国大会出場」

15

元気ななかま 「宇多津町婦人会」

16

みなさまの声 「キラキラ・Happy・ベル」

16



平成28年 第3回定例会

平成28年第3回定例会は9月1日から8日まで開催し、議案4件、認定7件、同意2件、請願1件を審議し、すべての議案、認定および同意を可決しました。また、決算認定を継続審査とし、請願は否決しました。一般質問は9月2日、5日に行われ議論を交わしました。

おもな内容

**平成28年度宇多津町一般会計補正予算
(第3号)について** (2億6038万円)
全会一致で可決

- ・コミュニティ分館管理費 (313万円)
- ・トイレ・排水設備の修繕、エアコンの取替え、消火器・パイプ椅子の購入など
- ・社会保障・税番号制度導入事業 (216万円)
- ・倉の前「陽だまり」(旧さくら茶屋)維持管理費 (137万円)
- ・私立保育所費 (420万円)
- ・私立保育所4園に対して、入退出システム・監視カメラの設置
- ・農地管理費 (130万円)
- ・大隈地区水路工事
- ・単独新設改良事業費 (650万円)
- ・山下中村線の道路改良工事(ラモナー南側のかさ上げ)

**宇多津町都市公園条例の一部を改正する
条例について**

- ・臨海公園に水族館を建設することができるよう、公園施設の建築物の敷地面積に対する割合を上げる。

**ネットワーク分離のための増設用PC
購入に伴う契約の締結について**

- ・セキュリティ強化対策としてネットワークを分離するため、パソコンを購入

同意

宇多津町教育委員会教育長の任命について

賛成多数で同意

宇多津町教育委員会委員の任命について

全会一致で同意

請願

幼稚園・保育所借地料の減免に関する請願

賛成少数で不採択

同意 教育長の任命

《おもな反対討論》

- ・教育改革により、今回から町長が指名をする。この4年間、教育に対して前進するような施策や予算確保、新しい事業が目に見えていない。これから先また勉強して頑張ってもらう時間はない。適正な人材をお願いしたい。
- ・今、多様な問題を抱える教育現場には、教育界や学校に明るい人こそが望ましい。
- ・保護者・PTAの声を聞いて、正しい判断ができる人をお願いしたい。

《おもな賛成討論》

- ・行政マンとして教育現場の中を改革してもらい、そのために頑張ってもらいたい。
- ・すべての自治体で首長が教育長を任命する。それで出てきた教育長が最高の人事である。

請願 幼稚園・保育所借地料の減免に関する請願

《おもな反対討論》

- ・今回は請願としての願意が不足している。願意は減免をしてほしい、理由は経営が非常に厳しいということである。また、議員間でも不審に思うのは2つの法人に対する特定の利益誘導に繋がる恐れがある。陳情ならば受けるが、請願は受けられない。

- ・特定の個人や団体に有利になるように議員が働きかけている。直ちに政治倫理委員会を開いてほしい。

《おもな賛成討論》

- ・私立の保育園や幼稚園はできるかぎり経費を削減し、大変努力している。子育て支援に一生懸命力を入れている私立の幼稚園・保育所にとって、町の借地料が足かせになっているのなら、少しでも減免してはどうか。

本会議 議員の賛否

○ 賛成 × 反対 欠 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		港	大黒	井上	西本	濱中	柴村	宮本	大松	青木	藍川
認定	平成27年度一般会計歳入歳出決算を継続審査とする	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度はなの森墓地公苑整備事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度水道事業会計決算を継続審査とする	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案	平成27年度水道事業剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	ネットワーク分離のためのパソコン購入	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
同意	教育委員会教育長の任命	○	×	○	×	○	○	×	—	○	×
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
請願	幼稚園・保育所借地料の減免	×	○	×	○	×	×	○	—	×	○

水族館建設のための条例改正

合同・総務建設常任委員会

臨海公園の条例改正

Q なぜ今、都市公園条例の一部改正するのか。

A 地域の活性化の拠点になる水族館建設を実現させるために公園内に建築物を建てるための条例改正が必要となった。



水族館予定地

地域整備課

町債補正200万円の経緯

Q 庁舎耐震工事に係る起債限度額の上限を上げるのはなぜか。耐震工事の途中に今回の補正で上限を上げるが、今後もそのようなことはあるのか。

A この先、起債限度額を上げることは考えていない。

総務課

社会保障税番号制度整備

Q 国策である現在のマイナンバーの加入・申込状況はどうなっているのか。

A 1,200人強が申請を上げている。交付は1,000人強で人口の割合にしては普及率が低い。現在は、申請を上げて1か月で町に届くようになった。国も広報活動に力を入れているが、まだまだ浸透していない。

住民生活課

防災対策費

Q マンションで自主防災組織を立ち上げているところは何か所あるのか。今までに設置した消火器の本数は。

A 現在、マンションの住人で自主防災組織を立ち上げているのは3か所。そのマンションに設置したい消火器の申し込みがあれば、町の防災資機材補助金制度により支援をする。

危機管理課

第12回議会報告会を開催します

宇多津町議会では、議会活性化の取り組みの一つとして、平成21年より「議会報告会」を開催しています。

町民の皆さまに議会活動を知って頂き、さらに皆さまのご意見をお聞きます。平成27年度決算について簡単に説明した後、フリートークを行います。今回は「水族館に期待すること」がテーマです。ぜひ、ふるってご参加ください。

と き 平成28年11月7日(月) PM7時～

と ころ 坂下西コミュニティ分館・新浜コミュニティ分館
(キッズプラザ隣り)

町政を問う

(一般質問の件名)

柴村 賢三	・道路・公園の雑草などの環境対策は ・ボランティア活動中のケガの補償は
宮本 隆	・自転車共同利用システムの導入は ・町内10代の投票状況は
青木 義勝	・特性のある包括ケアシステムを ・ヘルプマークの普及を
藍川佳津樹	・放課後児童クラブの夏休み対策は ・総合戦略の取り組みと進捗状況は
大黒 一也	・緊急時の電話連絡体制は ・かかりつけ医の普及促進を
井上 弘治	・本町の財政硬直化の要因は ・自転車保険加入の啓発は
西本 祐子	・イベントの危機管理は ・街区公園に照明灯を ・四国デスティネーションキャンペーン
濱中 保夫	・インフルエンザ予防接種の助成を ・臨海公園でのポケモンGOの対策

議会・ひとくちメモ

「請願」ってなあに？

「請願・陳情」は憲法で保障された国民の権利の一つで、市政・町政に対する意見や要望などを議会に提出できる制度です。

一般的に「請願」には紹介議員が必要で、受理されれば委員会に付託され審議されます。「陳情」には議員の紹介は必要ありませんが、多くの自治体では「請願」と同じような扱いです。審議の結果、採択された場合には、執行部（市長・町長）に提出され、その内容について誠実に処理されることが求められます。

子どもの未来応援

教育民生常任委員会

校務支援員補助金

Q どのような経緯で県からの補助金をもらうことになったのか。

A 教員の負担軽減をはかる目的で、校務支援員を配置する学校に補助金が出る制度がモデル的に始まった。中学校から要望があったため、県に申請した。県内のモデル校は6校。

学校教育課

子どもの未来応援

Q 「子どもの未来応援交付金事業」とは。

A 今年度はひとり親世帯へのアンケートを実施し「子どもの未来応援事業計画」を策定する。

保健福祉課

無傷病世帯

Q 保険事業費の無傷病世帯の年齢層は。

A 比較的若い世代が目立つが、年齢層に極端な偏りはない。単身世帯が過半数を占めている。
※無傷病世帯とは1年間、健康保険を使わなかった世帯

保健福祉課

まんでがん体操

Q 体操の普及は進んでいるのか。

A 現在12か所でこれから3か所増える予定。5人以上で町民が自主的に毎週1回運動をするところにはおもり、歌詞カードなどを貸し出す。

(詳しくは14ページ)

保健福祉課



雑草が生い茂っている町道



柴村 賢三 議員

道路・公園の雑草などの環境対策は

計画的に維持管理を行っている／地域整備課長

問 町の公有地である公園や空地の雑草が生い茂り、道路沿いには子どもの背丈ほどの雑草が生え、歩行者や車の通行に支障が出ている。また、街路樹の枝の垂れ下がり、落葉・植樹帯の不整備・不法投棄された物の散乱、特に川東地域などの郊外地域にその光景が多く見受けられる。環境美化

の維持管理は、どのように計画し実施しているのか。

松井地域整備課長 道路・

公園・街路樹・植樹帯などの維持管理については、シ

ルバー人材センターへ年間委託しており、各該当箇所

ごとに実施回数を決めて計画的に実施している。街路

樹などの高木作業について

も計画的に業者へ発注している。特に、イベント前や急を要する場合には、特別に追加して清掃なども実施している。

再質問 作業実施後の現場確認は行っているのか。また、行政が率先して美化に努めていれば住民からの苦情も少なくなり、民間の空

地など草刈りの協力が得やすくなると思うが。

松井地域整備課長 職員が作業状態を常に巡回して確認している。今後、巡回の範囲なども含め、もう少し細かいところまで目配りしていきたい。

ボランティア活動中のケガの補償は

全国町村会の賠償保険に加入している／住民生活課長

問 生活水準の向上、生活様式の変化にともない、廃棄物が道路や河川に散乱して

おり、次第に快適な生活環境が失われようとしている。美しいまちづくりを目指すため、クリーン作戦・

地域での清掃活動・資源ご

ミの回収や分別作業、また防犯パトロールなどに多くの住民がボランティアとして参加しているが、活動中に思いがけない事故にあった場合の補償は。

中村住民生活課長 クリー

ン作戦のような単発の行事については、その都度、傷害保険に加入しており、年間事業の防犯パトロールは年間保険に加入している。

また、その他各種ボランティアの場合には一定の制約

はあるが全国町村会総合賠償補償保険に加入している。住民の皆さんがボランティアとして安心して地域社会活動が続けられるよう掛金と補償内容を考慮しながら努力していく。



宮本 隆 議員



自転車共同利用システム

自転車共同利用システムの導入は

本年度から電動レンタサイクルを設置する／まちづくり課長

問 自転車共同利用システムとは町内各所に設置したステーションから、自由に自転車を利用し任意のステーションに自転車を返却することが出来るレンタサイクルである。本町のようにコンパクトな町では近距離の自動車利用の抑制を促し、CO₂削減を図るとともに、町の活性化や回遊性賑わい創

出の効果が期待できる。ぜひ導入していただきたいが。

浅野まちづくり課長 コミ

ち無人での管理運営というケースは全体の約29%を占め、最近は無人数管理方式を導入している割合が増加をしてきている。

浅野まちづくり課長

地方創生総合戦略の施策の実現に向けての事業として、電動レンタサイクルの設置を本年度から試験的に実施する。観光などで来町された方への交通手段としてのもので、その利用状況などについて検証を行うことになっている。

再質問

本町も電動レンタサイクル10台を導入するようだが、現段階ではどのようなになっているのか。

町内10代の投票状況は

香川短大で選挙制度の講演会を実施した／総務課長

問 7月の参議院選挙で新たに選挙権を得た、町内の18、19歳の投票状況は町内全体の投票率を押し下げてはいないのか。18、19歳の若年層は今回が初めての投票だったが、どのような啓

発活動を行ったのか。

山下総務課長 本町の18、19歳の有権者数は398人で投票者数は148人、投票率は37・19%であった。全体の投票率が48・88%と

いうことから18、19歳の投票結果によって、若干だが全体の投票率を押し下げている現実が見て取れる。啓発活動としては、香川短期大学において4月の新入生、在学生に対するオリエンテ

ーションの時間をいただき、選挙年齢の引き下げなどを含む選挙制度の講演会を実施した。

票だったが、どのような啓

票率は37・19%であった。全体の投票率が48・88%と

票率は37・19%であった。全体の投票率が48・88%と



青木 義勝 議員

特性のある包括ケアシステムを

一人一人にあったケアを推進する／保健福祉課長

問 2025年には800

万人の団塊の世代が75歳を迎える。深刻な超高齢化社会への対応として、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスの5つを切れ目のない一体化した支援が地域包括ケアシステム

と聞く。高齢者が住み慣れた地で尊厳の保持と、自立生活を目的に自分らしい暮らしを目指す。その事業概要と本町の取り組みは。

高瀬保健福祉課長

高齢者

が住み慣れた地域で安心して医療・介護、保健等のサービスを受けながら暮らしているシステムを地域包括ケアシステムと言う。在宅での医療や介護の充実を図るため、介護予防や認知

症対策として、まんがん体操の普及や認知症地域支援員の配置など、地域包括支援センターを拠点に一人一人のケースにあったケアマネジメントを推進していく。

ヘルプマークの普及を

県にも導入を働きかけたい／保健福祉課長

問 パラリンピックが始ま

る。内部疾患障がい者が手助けを求めているも、一見して一般人には分かりにくい。手助けを必要とする障がい者の意思表示にヘルプカードやヘルプマークがある。東京オリンピックやパラリンピックには全世界か

ら多くの人が集まる。日本中にヘルプマークの普及を。本町の考えは。

高瀬保健福祉課長

ヘルプ

カードは、援助や配慮を必要としていることが外見ではわかりにくい障がい者などが、周囲に助けを求める

ことを知らせて援助を受けやすくするためのもの。平成24年に東京都が作成し、近隣では岡山県、愛媛県、徳島県で採用され、急速に全国に広まりつつある。障がい者への配慮として有効な方法であるので関係する県の担当課との意見交換の

場を通し働きかけたい。



ヘルプマーク



藍川 佳津樹 議員



開館を待つ児童と付き添う女性

放課後児童育成クラブの夏休み対策は

開所日や時間は教育長が決定する／教育長

問 夏休み中、育成クラブ

施設の前で午前8時過ぎに子どもがしゃがみこみ、そばで女性（シルバー人材から派遣）がうちわで蚊を追っている姿があった。開館が8時半だが、保護者の仕事の都合で8時に預けざるを得ない夏の状況。住民目線をうたう町行政にしては冷たい処遇ではないか。

誰がこれを決めたのか、近隣自治体の状況とあわせて伺いたい。

合田教育長 調査では坂

出午前8時～午後6時、丸亀同7時半～同7時、綾川同8時～同6時、多度津同8時半～同6時半の状況であった。開所日、時間は私が決定する。条例制定当初は、長期休業

開所はなかったが、利用者の希望で開所時間と料金を条例にいった。

再質問 長期休業時の開

館時間は条例になく、細則で教育長が決めることになっている筈で権限は教育長にある。どういう考えで決めたのか、また話は聞いているのか。現

場は確認したのか。

合田教育長 前教育長の

ときにそうだった。8時半になったのは、保護者よりは職員の勤務時間を優先して決めたのではない。昨年、朝8時からには生徒が十数名いることは確認している。ただし現場は見えていない。

総合戦略の取り組みと進捗状況は

女性の参画、子育て支援策を推進／まちづくり課長

問 1問目の質問は女性の

労働環境整備にもかかわる課題と考えている。内閣府・厚労省・文科省三位一体の施策となりうる。私は3月議会の質問で、総合戦略の中の女性活躍促進策につ

いて尋ねた。今回のような

事例が出てきた機会に聞くが、その後、これについて具体的な方策を立ててきたのか。さらにはその他総合戦略への取り組みの進捗状況は。

浅野まちづくり課長 女性

の参画、活躍促進の具体策として、子育て行動推進事業、キラサポ宣言推進事業などの制度や助成の内容を広く周知していく。企業や雇用者への職場環境や待遇

改善などを来年度から働き

かけていく。三位一体の例は、子育て支援全般で面的な事業展開の事例もあり、縦割り行政脱却が徐々にさ

れていくという認識はある。



大黒 一也 議員

緊急時の電話連絡体制は

特設公衆電話の設置場所を周知する／危機管理課長

問 大災害が起こった際、

公衆電話は一般家庭や事務所の電話回線より通話確保の優先度が高く設定されている。特に無料で通話ができる特設公衆電話は、住民にとって安否確認やライフラインとして非常に重要な通信手段である。本町でも4か所の避難所に設置されているが、安心して使える

通信手段であることを周知することが重要ではないか。

木下危機管理課長 災害時

広報紙やホームページへの掲載などによって広く広報していきたい。

木下危機管理課長 どこに

設置するかなどはNTTと協議する。公衆電話の設置場所の周知は、NTTのホームページで情報掲載しているが、周知ができるよう検討したい。

和田学校教育課長 小中学

校で年間計画のもと、防災教育を実施している。

における通信手段の確保を目的とした特設公衆電話が町内4か所（保健センター、宇多津北小学校、宇多津小学校、宇多津中学校）の指定避難所に設置していることの周知については、町の

再質問 特設電話の模擬訓練、公衆電話場所の周知をするとともに、特設電話の設置箇所を増やす考えは。児童生徒への防災訓練教育を積極的に。

かかりつけ医の普及促進を

在宅医療の大切な役割だと考えている／保健福祉課長

問 2025年を目標とする地域包括ケアシステム体制の整備では、在宅医療の中心的役割を担う、かかりつけ医の存在が極めて重要。身近な地域で日常的な医療を受けられるほか、日々の健康を維持し見守り、適切

な医療機関を紹介し、健康相談ができる医師として、普及、定着を図る必要があるが、かかりつけ医を持つ状態を作り出すためにどのように取り組んでいくのか。

高瀬保健福祉課長

住み慣

れた地域で生活が続けられる地域包括ケアシステムを推進しているが、かかりつけ医は中でも大切な役割を果たして行くものと考えている。今年度中には町内の医師、歯科医師、薬剤

師、訪問介護ステーションなどを対象に、在宅医療に関する現状と希望調査のアンケートを実施する予定で、関係機関の主催する各種研修会や講演会の場合でも周知していきたい。



役場の公衆電話



井上 弘治 議員



通勤通学に自転車を使う人は多い

本町の財政硬直化の要因は

健全な財政運営に傾注する／総務課長

後の見通しは。

山下総務課長

問 主要な指標の1つに經常収支比率がある。この比率が近年急速に上昇している。財政指導では府県で80%、市町村が75%程度を良好としている。本町は平成24年度79・3%、25年度81・6%、26年度84・4%である。年々増加傾向であり財政が硬直化している。財政硬直化の大きな要因と今

ここ5か年の經常収支比率は増加傾向である。經常一般財源収入は、一定の水準で推移している。その中で經常経費が増加している。私立保育園の運営費、子ども医療などの福祉医療及び障がい者の自立支援などの扶助費、電

算システムや各検診事業費などの委託料などが増加している。全国の自治体でも財政は硬直傾向にある。歳出削減に努めると共に健全な財政運営に傾注していく。

再質問

他の自治体は、公共施設のスリム化や再編成と箱モノの維持費の削減に取り組んでいる。

山下総務課長

本年度中に公共施設の老朽化などに関する総合管理計画を策定する予定である。それに基づいて、今後の適正な施設管理に活かしたい。

本町でも公共施設の耐震化や維持費対策が必要と考えるが。

自転車保険加入の啓発は

警察機関と歩調を合わせて取り組む／住民生活課長

活動に取り組むべきと考えるが。

中村住民生活課長

問 全国で自転車運転中に「加害者」となる人身事故が増加。子どもが高額の賠償請求される事件も増加。警察庁は自転車と歩行者の事故数の増加を発表。その損害賠償の対策として自転車保険がある。これを条例で義務化している自治体もある。この動きは全国で広がりを見せており、本町でも行政、教育機関から啓発

の事故件数が増加している。平成27年の改正道路交通法により自転車運転による危険を防止するための講習会に関する規定が整備されたところである。自転車利用者の過失による高額な賠償判決が出されるケースが発

再質問

教育機関の取り組みは。

和田学校教育課長

子どもを

事故から守る指導は各学校が交通安全教室を毎年実施している。もし加害者になれば、損害賠償は保護者が支払を命じられることになる。県民の意識改革として県全体で取り組むべき課題と考える。教育委員会としてPTA連絡協議会などを通じ保護者に自転車保険の加入について啓発していきたい。



夜はトイレだけが不気味に明るい公園



西本 祐子 議員

イベントの危機管理は

イベントの事前打ち合わせを行っている／まちづくり課長

問 本町ではたくさんイベントが開催されているが、その危機管理はどうなっているのか。イベントでは何かと「おもてなし」が優先され、危機管理は後回しになりがちである。イベントの多い本町こそ「ICS」（緊急時総合調整システム）の考え方を取り入れ、

職員研修や関係者の事前の打ち合わせなどを行うべきではないか。

浅野まちづくり課長 まちづくり課が主催の収穫祭などでは、事前に交通規制や安全な食品提供をはじめとする安全対策について、警察・関係団体と

協議している。また町内の医療機関と連携して救護所を設置しているほか、イベント時は不審者などの情報提供を呼びかけている。

木下危機管理課長 危機管理課としてはあまり携わってこなかった。年2回の防災講演会などに、今後はイベントの危機管理体制の強化についても情報を集めて検討したい。

再質問 坂出市ですでに職員研修として取り入れているが、本町ではどうなのか。

ICS（緊急時総合調整システム）とは、災害や事件・事故の現場で指揮系統などを共有すること。例えば、イベントのような非日常も災害と考え、迅速で効果的に対処できるようにする。

街区公園に照明灯を

児童公園には照明灯は必要ない／地域整備課長

問 町内には街区公園がたくさんあるが、夜は真っ暗なところが多い。隣接する遊歩道を通る人はいるが、公園内は暗いため、横切る人はほとんどいない。特に冬場は夕方5時頃でも薄暗

く、子どもたちはその中で遊んでいる。公園は災害時には近隣住民の避難場所になる可能性もある。五番丁、六番丁、九番丁の公園に照明灯の設置を

してはどうか。

松井地域整備課長 対象の公園は街区公園ではあるが、元々児童公園として整備された。従って暗くなっ

てから遊ぶ環境を作らないためにも、あえて照明灯は設置しない。

ICS（緊急時総合調整システム）とは、災害や事件・事故の現場で指揮系統などを共有すること。例えば、イベントのような非日常も災害と考え、迅速で効果的に対処できるようにする。



濱中 保夫 議員

インフルエンザ予防接種の助成を

予防が必要なものは他にもあり検討していく／健康増進課長

問 今年3月定例会で同僚

議員が、インフルエンザの助成を質問した。担当課長の答弁は、高齢者に助成しているが、子どもには助成していない。インフルエンザは発病後5日が経過し、

かつ解熱後2日が経過するまで出席停止。まずは中学校3年生へのインフルエンザ予防接種の助成を始めてはどうか。

中谷健康増進課長

インフ

ルエンザにかかれば出席停止になるため、接種により

おたふく風邪、ポリオの追加接種など、他にも検討するものがある。

感染などの予防を図ることは学校生活に有効あると思う。一方、制度化という観点からは、ロタウイルス、

もう少し動向を見守り、予防接種全般について制度のあり方など今しばらく検討させていただきたい。

臨海公園でのポケモンGOの対策

公園内に注意看板を設置している／地域整備課長

問 大震災や地震で被災し

た四県が観光誘致にポケモンGOを活用するそうだ。

路上駐車も増えている。今やれる対策や対応をどう考えているのか。

設置した。駐車場も満杯状態である。西側駐車場は毎日夜間閉鎖し、東側駐車場

再質問

臨海公園での補導は。

宇多津臨海公園にはポケストップ、ジムがあり賑わい

松井地域整備課長

ゴミな

る。ゴミなどが散乱し、美観が損なわれ、夜間の駐車場は、22時から7時間で施錠している。その時間帯は、

どの問題は、海ホテル職員や臨時職員、シルバー人材センターから一時的に派遣し清掃を行っている。臨海公園内に注意看板を3か所

は、週末及び祝日前夜等々を夜間閉鎖している。路上駐車に関しては、今後も今の状態が続くようであれば警察と協議を行いたい。

和田学校教育課長

補導員

は17班あるが、今のところ声かけや補導については聞いていない。

『まんでがん体操』

町ではさまざまな介護予防教室を開催していますが、以前から「歩いて行ける身近なところがない」という声が上がっていました。そこで、高知の『いきいき百歳体操』を参考に、楽しく簡単にできる『まんでがん体操』を考案しました。まずは、介護予防教室参加者やサポーター、民生委員、老人クラブなどに体操を知ってもらい、関心がある団体へは出向いてプレゼンテーションを行いました。その後、住民主体で週1回以上の開催を条件として『おもり』や音楽CD、歌詞カードなどを無料で貸し出し、体力測定や4回の体操指導をしています。

昨年11月から新都市のマンションや自治会で広がり、今年3月には6か所で118人の登録でしたが、9月現在では12か所で210人が登録しています。

楽しく歌いながら体操し、その効果を体感している参加者の声が口コミで広がっています。初めは介護予防の体操を目的に集まった人たちが体操後に茶話会を開くなど、新たなコミュニケーションの場としても活用されています。



おもりを手や足に付け替えて、童謡を歌いながら楽しく運動

香川短期大学生との意見交換会

選挙権が18歳以上になったことや若者の率直な意見を聴くため、町内にある短大の学生との意見交換会を10月4日に行いました。子ども学科、生活文化学科などの学生10名（下宿を含む町内在住は5名）と議員10名が参加しました。本町は便利で住みやすいという印象でしたが、住み続けたいとまではいかないようでした。もっと若者が住みたくなるまちづくりを目指していかなければという思いを強くしました。

主な意見交換内容

どのような施設などが有ればいいですか？

- ・バスケットボール場
- ・品数の多い衣料品店
- ・大きなゲームセンター

投票に行きましたか？

投票した（4名）

- ・候補者をインターネットで調べた。
- ・家族を誘った。
- ・雰囲気を見たかった。

町の印象は？

- ・店が多くコンパクトで便利。
- ・イベントが多く賑やかである。
- ・交通マナーや治安が悪い所がある。

町民とどういふ場所でどんな交流をしたいですか？

- ・場所は役場や駅前がいいが、特定はしない。
- ・奉仕活動
- ・お年寄りに昔の遊びを教わる。
- ・中学生とのイベント
- ・料理教室
- ・親世代の人との交流。

魅力ある町に必要なことは？

- ・観光スポットをつくる。
- ・恋人の聖地を活用する。



柔道60kg級

香川県中学校総体優勝
四国大会優勝
全国大会出場

宇多津中学校 3年

小山 翔大さん



小学1年から友達と一緒に柔道を始めました。試合時に「負ける」悔しさを学び、それからは人よりたくさん練習する事を心掛けるようになりました。これからも全国大会で活躍できるように先生の指導を受けながら1日1日を積み重ねて努力をしていきたいです。

小山さんは宇多津体協柔道部所属。ここでは幼児から高校生までが週3回、夜に宇多津デュアルスポーツセンター2Fで練習しています。OBでは元全日本選手の元谷先輩を始め全国、県大会で多くの選手が活躍しています。全国大会では前日からの猛暑で体調を崩し、思うような動きができなかったそうです。

今後の小山さんに乞うご期待。



全国大会で戦う小山さん(右)



応援しようでえ〜!うたづっふ

少年少女カヌー

全国大会 3位

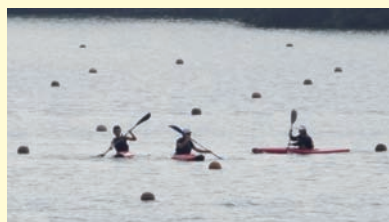
宇多津北小学校 6年

岡崎 凜子さん



カヌーを始めたのは7歳上のお姉さんがやっていて勧められたからで、実は水泳を始めスポーツはあまり得意ではないとのこと。練習は毎週土日府中湖で行っていて、水の上をスーッと進むのが楽しいと言います。

山梨での全国大会では水が澄んでいて抵抗が少なかった反面、波があってまっすぐ漕ぐのに苦労したそうです。秋にはOHK杯が府中湖で開催され、「西日本各地から有力選手が集まるので、好成績を残したい」と目を輝かせていました。



府中湖でのカヌー練習

ジャベリックボール投げ

香川県大会優勝
全国大会出場

宇多津北小学校 6年

齋田 愛実さん



高松のソフトボールチームに所属している齋田さんは、もともとボールを投げるのは得意。ジャベリックボール投げは陸上の先生に勧められて始めたのだとか。今は週4回放課後の陸上クラブで練習しています。

全国大会の日は雨が降っていてコンディションは悪かったそうですが、会場の広さに驚いたと言います。中学生になってもソフトボールは続けたいとのこと。

「秋の陸上大会では新記録を狙っている」と意気込みを語ってくれました。



ジャベリックボール
やり投げの普及のために考案された
競技。投げた距離を競う。



陸上クラブでの練習

元 氣 な な か ま ゴ ル ー プ 紹 介

「楽しい婦人会活動」

宇多津町婦人会員の総数は現在563人です。各町内32地区から代表の支部長が集まり、毎月第2月曜日午後1時30分から保健センター和室で定例会を開催しております。活動の原点は、この会合にあります。

5月には「ゴキブリ団子」を作り、各家庭へ毎年配布して大変喜ばれ、家の中からゴキブリがいなくなったという声も聞きます。また年3回、支部長全員で、中央公園や臨海公園の清掃作業に励んでおります。

地域交流においては、「歩天」でうどんや寿司を販売し「おいしい、うまい」と喜ばれ、皆様から元氣をもらっています。

3月の「町家とおひなさん」の行事では、西光寺で「ひな茶会」を開催し、地域交流として香川短期大学の学生さん10名にお抹茶のお接待やお手前をしていただいております。お茶席は華やかな雰囲気でお客様からも好評です。

さらに、毎年9月にユープラザうたづで町主催の敬老会が開催されており、今年も婦人会員が協力とともにお手伝いさせていただきました。現在、会員数が減少しておりますので、ぜひ若い方のご入会をお待ちしております。



敬老会で出迎える
婦人会員



清掃活動のようす

みなさまの声

キラキラ・Happy・ベル



キラキラ・Happy・ベル指導
國友 浩子さん

小学生の子どもたちと、ミュージックベルやトーンチャイムという楽器を使って演奏する活動を始めて27年になりました。

地域の祭りや福祉施設、老人施設の慰問、いろいろな会や各種記念行事のオープニングセレモニー、クリスマス行事の点灯式やコンサートなど、さまざまな場所、場面に呼んでいただき演奏してきました。町内だけでなく、町外の祭典やコンサートにも参加してきました。

地域の方々や保護者の協力や応援のおかげで、毎年目標を持って続けてきました。

小学1年生から6年生が参加するので、毎年メンバーが変わります。演奏技術の向上も大切ですが、異学年の友だち同士で思いやる心が育っていると思います。

子どもが、自分で考え、努力し、行動することで、自信を持って笑顔で演奏出来ています。癒される音色に耳を傾けて、暖かい応援よろしくをお願いします。



真剣に練習する子どもたち

あとがき

11月は国民の祝日が2日あります。まずは3日の文化の日です。この日はもともと1946年に日本国憲法が公布された日で、その憲法が平和と文化を重視していることから文化の日になりました。

次は23日の勤労感謝の日で、働いている全ての人に感謝をする日です。普段、衣食住や何気なく暮らしている生活の中で、見えないところで守り支えてくれている多くのヒーローがいることを、少しでも思い出してもらえたらうれしいです。身近な人に感謝の気持ちを言葉や手紙で伝えてみてはいかがでしょうか。

(大黒一也)

議会広報特別委員会

委員長 西本 祐子
副委員長 濱中 保夫
委員 港 一紫
委員 大黒 一也
委員 井上 弘治
発行責任者
議長 大松喜次郎